

オンライン懇談会 議事録

< 鎌倉地域西地区 >

日 時	令和2年10月26日（月） 午前11時～正午
場 所	鎌倉市福祉センター
参 加 者	自治会町内会代表 7団体：7名 計7名 鎌倉市 1名
内 容	(1) 開会挨拶 (2) 懇談 (3) 閉会挨拶

参加者名簿（敬称略）

【自治会・町内会等】

	団 体 名	氏 名	備 考	オンライン
1	佐助自治会	岡田 富男	会長	
2	由比ガ浜自治会	山崎 巳之吉	会長	
3	塔之辻自治会	加藤 孝彦	会長	
4	長谷自治会	松山 健二	会長	
5	極楽寺自栄会	高橋 純信	会長	○
6	馬場ヶ谷親和会	仲島 孝	会長	○
7	極楽寺西ヶ谷町内会	小原 芳行	会長	○

【鎌倉市】

	役 職	氏 名	備 考	オンライン
1	鎌倉市長	松尾 崇		○

【災害被害の予防対策について】

<佐助自治会 岡田会長>

ふれあい地域懇談会に係る質問の回答もいただきました。昨年台風のときに市内各地で倒木、溢水等被害がたくさん出たわけですが、佐助も例外ではございません。数軒のお宅で、特に谷戸の奥ということがありまして、負傷者はいなかったようですが、大きく成長してしまった木が落ちてきて家屋に被害を与えるという問題が発生いたしました。

質問に対するお答えとしては、補助金を出して地権者に伐採をしていただくというお答えで、結局、地権者等の民民の問題になるということのお答えでございました。しかし、現実には価値を持たないといいますか、売り買いができない山の植物、木でございますから、地権者にやれと言ってもお金もそれなりにかかります。最近やってくださった方がいましたが、2日間で100万円近いお金をかけただろうと思います。その方はお金があるようでして、補助金は申請しなかったようです。

しかし、市としてもそういう条例をつくっている以上、計画的に、少なくとも危険な場所については、処理していくことを考えなければいけないのではないかと。民法上は民民の問題だよと、しかも、災害による被害は個々の判断だと、責任だということでは、ちょっと冷たいかなと。そのように思っておりますので、今後、市としてどう介入していくか、どう助けていくか、それをお伺いしたい。住民同士の争いになるというのは自治会長としても非常に心苦しいことではございますので、その辺を伺わせていただきたいと思います。追加の質問をさせていただきます。

<松尾市長>

御指摘のとおり、鎌倉市内にはこれだけ斜面地が多くございまして、災害、特に倒木、土砂災害は大変大きな課題でございます。

対応の仕方ですが、危険な場所も含めて、全て行政で対応するというのはなかなか現実的にできる状況にはございません。では、どうしていくかというところですが、これは全国で同じ対応ですが、まずは所有者の方の責任ということになりますので、何とかしていただきたいというところです。

ただ、御指摘のように、そんなに費用がかかるのではできないという場合に、こうした補助の仕組みを活用していただくということになります。また、明らかに危険だというところがあれば、行政としても、その場所、場所によって、対応を色々と検討させていただくと同時に、地域の方と一緒にその所有者の方に連絡をしたり、働きかけをしていくことも鋭意しております。

また、一度にはできませんが、市が危険だと判断したところについては、木の伐採をすることを、市内で順次やっていくということも拡充しているところ です。

このような様々な方法を活用しながら、災害時に市民の皆さんに危険が及ぶ ことのないように取り組みを進めてまいりたいと考えております。

<佐助自治会 岡田会長>

現在ご回答いただけるのはその程度だとは認識しております。

【ロードプライシング等、鎌倉の交通について】

<塔之辻自治会 加藤会長>

何という名称だったか忘れてしまったけれども、鎌倉の市街地に車が入ってくる 場合に、お金を取るというようなものがあったと思いますが、その進捗状況をお尋ねします。

<松尾市長>

これは、ロードプライシングという名前で取り組みをしているところです。

実は、このお金を取るということについて、まだ整理ができ切れていないと いう状況でありまして、国とも連携を取って、今、鋭意進めているところです。

本当は一つの目標が、オリンピックまでに何とか実証実験を行っていきたい というところで進めてきているところではありますが、現時点ではまだこの実 証実験に入る手前の状況でありまして、この整理ができればその次の段階に入 っていくというところになります。

もう1点、ロードプライシングとは違いますが、今、市内の交通渋滞の課題

は、日々住民の皆さんが大変御不便をされているところでもありますので、様々な取り組める部分に取り組んでいるという状況です。直近では、歩行者尊重道路を指定して、歩行者の安全を守る取り組みを行い、また今新たに取り組むこととしては、渋滞をしないように、信号のレンジを変えていくようなことができないかなど、短期的に渋滞解消に寄与できるような取り組みも並行して進めているというのが現状です。

<塔之辻自治会 加藤会長>

有料道路以外でお金を取るという道路は、日本の中ではあまり聞いたこともないので、かなり難しいハードルだと私は思っていますが、どうぞ努力してやってみてください。

<佐助自治会 岡田会長>

塔之辻自治会の加藤会長からの質問の関連で、ロードプライシングの問題ですが、非常に難しいですよ。それに代わると言いましょうか、それに先行して、例えば十二所辺りの奥とか、それから深沢とか、つまり中心市街地の外側に広い土地を確保できるところにモータープール、観光バスプールを作って、そこから、優先的な通行手段としてピストン輸送する。これは、私が十何年前かにイタリアのポンペイに行ったときに、そういう仕組みに既になっていましたけれど、そういうものを先行させることはできないのでしょうか。今のまま、ロードプライシングで関所みたいなもの設けるといったって、混雑場所は分かっていることですし、利便性を考えるならばそれを先行していく方がいいのではという意見を持っていますので、先ほどの加藤さんの御質問に加えさせていただきたいと思います。

<松尾市長>

できることをやっていくというところですが、今、深沢の地域が空き地になっているものですから、あそこに車を止めて、パーク・アンド・ライドをするなど、我々も様々検討をしているところですが、なかなか実現に至っていないという状況もあります。パーク・アンド・ライドは引き続き実施しているところ

ろで、より有効に使っていただけるようにということを含めて考えていきます。また、観光バスが渋滞の原因にもなっていることから、この観光バスを一時停めておくような形で、由比ガ浜の駐車場を活用するなど、また今後、深沢の場所も活用できないか検討をしている状況です。何とかできることを一つひとつチャレンジしながら進めてまいりたいと考えております。

<佐助自治会 岡田会長>

進めていくということが分かりましたので、ぜひ急いでよろしくお願ひしたいという思いです。

<馬場ヶ谷親和会 仲島会長>

ふれあい地域懇談会の議題の応募の中で、私は、塔之辻自治会及び佐助自治会の会長さんが言われたロードプライシングを含めて鎌倉の道路事情について、提出しましたが、ボツになってしまいました。前から言われていますロードプライシングは非常に難しい問題で、観光で飯を食っている鎌倉と言いながら、来てもらっては困るということはいませんが、もうちょっと道路事情をよくしてもらわないことには土日は買い物にも出られません。しかも、このコロナ禍において、一昨日ですか、道路事情はめちゃくちゃな状態でした。江ノ電も何か月ぶりかの満車状態でした。来られるのはいいですが、いつそういうことになるか、来るものは拒まずですけれども、松尾市長がおっしゃったように、観光バスが一番ネックだと思います。

もっと気がかりなのは、御存じのように、海から行ってガードの手前、それからガードをくぐって八幡宮に向かう道に大体、建築関係のトラックが停まっております、実は今朝も、約1時間、私が往復してくる間そうでした。たまたま警察のバイクが何台かまとまってその側を通過していきましてですけども、どういふわけだか何も言いません。加えて観光シーズンになると、今のところはそれほど多くはないですけども、若宮大路の豊島屋からあの辺の前に長時間止まっているわけです。ちょっとした買い物、5分、10分なら分かりますけれども、私が少し出かけて行って行きに停まっています、また帰りも停まっています。要するに、1時間単位で止まっている。これは何とかしてもらわないと、通行

上、非常に差し障りがあります。なおかつ緊急自動車が走るような場合、救急車、消防自動車の邪魔になるわけです。ですから、市民の安全上も問題になるわけです。先ほどの深沢の話にも出ましたが、10年たっていないと思います。観光バスが増えたため、トンネルを越えた先の火の見下、常盤のほうの空き地にバスを停めるようにしたということがありました。市長が言われるように、適宜何らかの方法で停められるような場所の確保をすれば、少しでも解消するのではないのでしょうか。何もしないしていると全然前に進みませんし、細かいところまで、市の職員の方をお願いして目を光らせていただくというところがポイントかと思っております。

<松尾市長>

若宮大路の脇は、片側2車線になっておりますから、車が停まるという状況は認識しております。警察とも連携していくところでもありますし、鎌倉駅周辺の駐車違反を見回りしているような方もいまして、渋滞を招くような形の駐車はきちんと対応できるように警察との連携を高めてまいりたいと考えております。あと、先ほどの長谷の大仏様の前に観光バスを停めているバスをどこに逃がしていくかという方法は、適宜検討を進めています。常盤の駐車場がなくなってしまったものですから、由比ガ浜の地下駐車場を試していましたが、より実践にもつながるような形で進めてまいりたいとも考えておりますし、また、関係者が多くおりますので、こうした協議を引き続き進めていきたいと思っております。

<馬場ヶ谷親和会 仲島会長>

引き続き、そういうことで目を光らせていただくということでもよろしく願いいたします。

「後日回答 共創計画部 交通政策課」

令和4年(2022年)1月から放送予定のNHK大河ドラマの影響により、多くの観光客の来訪が見込まれることから、長谷での渋滞対策として、大仏前駐車場を乗降場のみとし、周辺の駐車場を待機場所とする「観光バスのショットガン

方式」の導入を目指して、令和2年12月14日に、関係者による意見交換を行いました。引き続き調整を行ってまいります。

【避難所の整備、体制について】

＜馬場ヶ谷親和会 仲島会長＞

先ほど松尾市長から災害時の避難場所、パーテーションがここまで数がそろえられているとありました。実際にはまだまだ足りないはずですが。他の市町村の避難場所を見ますと、結構品数というか、そろえているのが散見されているものが現状です。私どものこの地区、極楽寺の稲村ヶ崎小学校学区の中で去年の台風でもそうですけれども、それ以前から体育館の中で雨漏りどころではなくて、モップでかき出してもとにかく間に合わないという状況がありました。たしか6月ぐらいに、雨漏りの工事も終わりました。雨漏りはこれで一安心ですが、ミニ避難所としての稲村ヶ崎小学校のこの場所で、なおかつ今、教室のほうに避難場所を移すような話もありましたが、体育館は後ろに山を抱えているわけです。この山は、何も補強されていないわけです。体育館の裏口の扉を開けると、目の前が山の地面です。教育委員会の方は多分来られて見ているはずですが、避難場所に避難したはいいけれども、すぐ脇の山から土砂崩れがあると、笑い話では済まないわけです。その辺の見極めをどうするかといっても、我々は素人なわけです。市から来られている避難所の担当の方も、昨年も2名で、雨漏りの対応に追われていて受付も十分にできない状態でした。なおかつ、去年は高潮の警報が出たので、坂の下から避難してきた人が120名ぐらいいたと思います。ですから、災害の種類によって、坂の下から非難に来る場合と、土砂崩れということになると、私どもの極楽寺の地区からと、状況によって分かれるはずですが、ところが、避難した先が土砂崩れといったら、これはどうなるのかと。ですから、今後の対応策として、避難場所として避難してくださいと言うからには、安全な場所でないといけないなと思います。これは、稲村ヶ崎小学校ばかりでなく、他の地区も近いと思います。御成中学校も昔と違って山の上ですから、果たしてそこに行けるかどうかというところもあります。他に例えば第二小学校も山を控えていますので、学校も避難所として安心

して避難できる場所にしていきたいです。だから、その辺の旗振りは市でやると言われていますけれども、市の職員の方も半分ぐらいは市外に住んでおられるわけですから、即刻駆けつけてもらえるとは、私どもは期待していません。かといって、素人の私どもがそれを勝手にやることもできないわけです。その辺の方向づけの御意見を頂きたいと思っております。

<松尾市長>

いくつかありますが、大きな方向性というところをまずお話をさせていただきたいと思います。特に風水害では小学校の体育館を避難所として開設していますが、体育館に縛られるということではなく、状況に応じて検討していかなければならない課題であると思っています。稲村ヶ崎小学校の体育館裏の山の地面が出ているということで、安全かどうかを、こちらでも確認はさせていただきますけれども、基本的にはそれほど危険だという認識は今持ってありませんでした。改めて確認してそこが危険だということであれば、当然それは避難所としてはふさわしくありませんので、そういう視点で考えていきたいです。

また、先ほど申し上げましたように、体育館ではなくて、しっかりエアコンも効いているということでは、普通教室、それも安全な場所を考えていくということが必要でして、まずこの場所の問題については、我々市役所と学校、教育委員会と連携して決める部分というのが一つあります。

もう一つは、先ほどの仲島会長がおっしゃるように、それ以外にもどんな災害になるかというのは予測ができないものですから、様々な選択肢を用意しておく必要があると思っています。それが、例えば自治会館や町内会館というところや、そのほかの公共施設を地域の皆さんと連携して、地域では本当はこの体育館よりもこっちのほうがいいのか、この場所を避難所としていきたいというところがありましたら、今後調整をさせていただきたいと思います。例えば避難所を地域の方が決めても、それを行政が把握していないと、そこに支援物資が届かないとか、そこと連絡が取れないということがありますので、きちんと連携を取らせていただき、体制づくりを今後行っていきたいと考えています。

全地域、小学校でいうと16校ありますが、行政が旗を振るということよりも、方向性はお話をさせていただく中で、地域の中でこうした避難場所の考え方を

整えていただく必要があると思っています。当然、それに行政は連携をさせて
いただいで進めていくべきと考えておりますので、そういう視点でぜひ御相談
いただければと思っております。

また、個別の話になりますが、体育館に担当職員が2名行って、避難所を開
設するという流れになっていますが、御案内のとおり、災害によっては、職員
が直ちに駆けつけられないということが想定されます。この辺は地域の方に鍵
をしっかりと管理をしていただいで、複数の手段を持つということが必要だと思
っておりますので、その辺りも様々協議をさせていただいで、進めていきたい
と考えています。

<馬場ヶ谷親和会 仲島会長>

分かりました。今後、できるだけ早い時期に、今、松尾市長が言われました
内容の実現に向けて、何とかお願いしたく思っております。ちなみに、今、松
尾市長がおっしゃった、市の職員の方がすぐ駆けつけられないというのは、物
理的に仕方がない部分ですが、そのまま放置できる問題ではないので、実は、
防災倉庫を学校の校舎内からグラウンドに移動した数年前から話を持ち上げて
います。しかし、確定は得られず、これは市の管理で、市の職員が必ず出動し
ますという、その一言で何年も過ぎている状態です。いつ来るか分からない災
害時に向けて対応できることが最低条件だと思います。

ただ、後はその連絡網をどうするか。また、あくまで避難所のお手伝いは可
能ですけれども、指示命令系統は行政にお願いするしかないと思っております。
私どもの地元のほうは、それに対して協力するというところで、二人三脚でも
って動くのがしかるやり方ではないかと思っている次第です。

「後日回答 防災安全部 総合防災課」

現在、市立小中学校25校を避難所（ミニ防災拠点）として位置付け、防災資
機材などを備蓄しています。今後は、ハザードリスクを考慮した避難所運営や
避難所の選定を行うよう検討してまいります。

「後日回答 健康福祉部 福祉総務課」

令和2年度の避難所の開設には、新型コロナウイルス感染予防対策として、消毒等の準備に人員が必要なため、各避難所につき4名の職員が対応する体制としています。

【災害時のホットライン】

＜松尾市長＞

1点だけ追加してお話させていただきますと、昨年、自治会町内会長と市の職員との災害時のホットラインの仕組みを作りました。鎌倉市で災害があったときに、私をトップとした組織である災害対策本部を立ち上げますが、そこで協議した内容や決定事項を各自治会町内会長にお伝えをするという目的で、昨年始めました。今年も担当職員から御連絡が行っていると思いますけれども、災害時における自治会町内会長さんとの連携は非常に大事だと考えておりますので、今後これをよりよい形にしていきたいと思っております。運用していく中で課題等ありましたら、御意見等、頂ければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。